

2022.3.10発行

丸中建設(中)社内報

第20号

2災土木第55号高井線道路災害復旧工事



現場監督コメント

無事に高井線の現場を終わらせることが出来ました。
初めての現場だったので心配なことが多くありましたが、いろいろ教えていただいたおかげで無事に完成できました。
これからも頑張っていきたいです。

根本健吾



花粉の季節でもありますね。
花粉症のみなさんつらい時期ですね。
眠くなる薬もあるようですので
服用には充分注意しましょう。

社長のつぶやき



ブーゲンビリアの下で

ここへ来て、図らずも数名の社員が新型コロナウイルスに感染しましたが、全員が症状も軽く先ずは一安心でした。現場復帰の際は、勤が鈍っていることも考えられますので十分注意して作業に当たって下さい。

現在、工期内竣工が大変厳しい現場が殆どです。その為、休日出勤などお願い致しますが、社員全員の力を合わせれば必ず完了出来ます。何とか**ご協力お願い致します。**

今年度は、殆どの現場が3月竣工となります。4月になると、一気に暇になっていた頃(震災前)を思い出し、またあの大変な状況になるのでは?と思うとゾッとします。少し昔話になりますが、あの頃、4月になると3月までの忙しさは「どこ吹く風」か、全く仕事が無い状況に陥りました。そもそも会社に体力(財力)が無いので、仕事を選ばず、とにかく「確保」して資金を回す状態、まさに自転車操業でした。そんな中、薬にもすがる思いで「地盤改良」へ進出しようと模索を始めました。しかし当時の丸中建設には、その事業に必要な資金を借りる事が出来ませんでした。新事業への進出は、私にとって生きるか死ぬかかの「挑戦」でした。

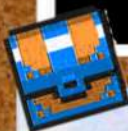
あれから15年、その「地盤改良」も今では順調に進んでおり、会社を支える柱となっています。あの「挑戦」が今の丸中建設を支えていると言っても過言ではありません。来年度をもって除染絡みの事業や台風災害の特需も終息します。そして、コロナ蔓延やウクライナ情勢により大きく世の中が変わるでしょう。その中で、私たち「丸中建設」も少しずつ変わっていく必要があると考えております。では「何をどうする?」ですが、4月初旬の「経営方針報告会」にて説明したいと思っておりますので、少しお待ちください。

最後に、最近ではコロナ感染者数も減ることなく推移しているようです。こうなると誰が、何時感染してもおかしくない状況です。休憩室に掲示してありますルールに従って、各自の対応をよろしく願います。

無事故・無災害・安全第一

第8回

わたしの「宝物」「旅の思い出」紹介します！



高橋吉一さんの宝物

愛猫のすずちゃん
とっても可愛いです。
3年前に
捨てられていたのを
育てています。

栗谷川益人さんの宝物

今乗っている
2003年式ホンダアコード
所有19年目
前車が故障し
やむを得ず購入しましたが、
修理費がかさみ手放すことに。
19年間のこの車と家族との
さまざまな思い出が宝物です。



片田真美子さんの
旅の思い出

実家のある鹿児島県
雄大な桜島（灰は降りますが）と砂蒸し風呂のある指
宿温泉や美味しいお店がた
くさんある天文館など、な
かなか帰省できませんが、
また家族とのんびり周りた
いです。

